

Sakai 活用事例

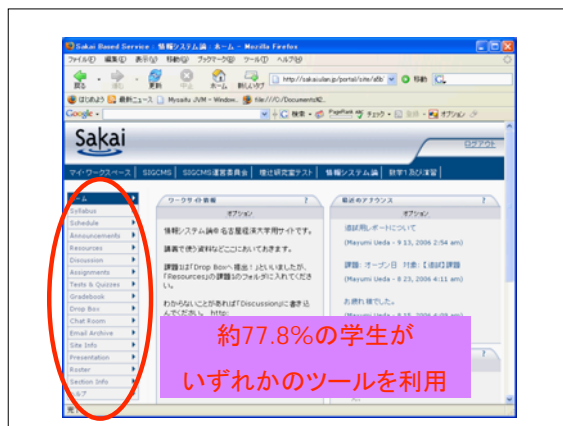
名古屋大学 情報連携基盤センター
上田真由美

第7回CMS研究会@福井 Sakaiチュートリアル 2007.11.30

講義での利用

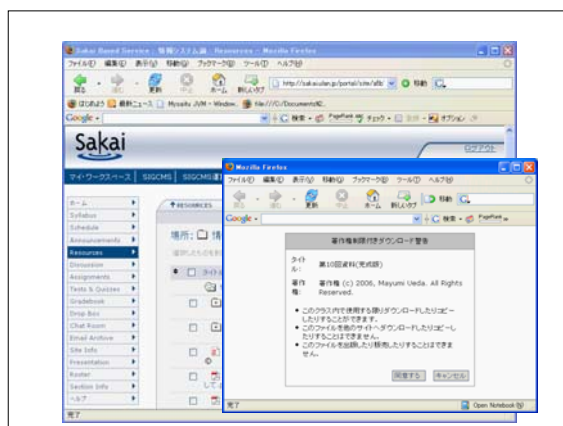
- 初めての利用 -

- 講義概要
 - 「情報システム論」
 - 2006年度前期、短期大学2年次を対象
 - 履修者は30名程度
 - 情報系の学生に限定していない
 - シラバス: 情報化社会で生活するためのバックボーンとなる、基本的な知識を身につけることが授業の目的
- Sakai 利用の目的
 - 実際に情報システムに触れる機会を提供
 - 講義時間しか学内にいない非常勤講師と学生との距離を近づける



講義での利用

- 資料の配布 **リソースツール**
 - 講義時間は穴埋め形式の資料を配布
 - 欠席者や講義時間内の説明で穴埋めが完成しなかった場合は、各自でダウンロードして学習
 - アンケート結果(自由記述)
 - 半数以上の学生が「便利」(選択式アンケート結果)
 - 自宅からアクセスした場合、ネットワーク環境によりダウンロードに時間がかかる
 - 講義時間に資料の配布をせず、あらかじめ公開し、各自印刷してから講義に出席する科目もあり



講義での利用

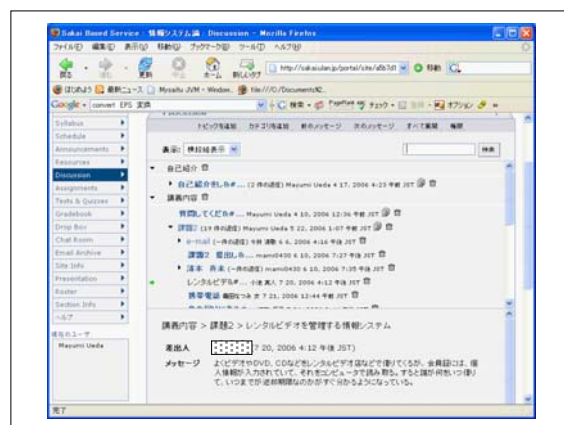
- 課題の公開・提出・返却 **アサインメントツール**
 - 講義時間内に課題の内容を説明後、公開
 - 聞き逃した場合など確認可能
 - 提出された課題にコメントをつけて返却可能
 - インライン表示・添付ファイルとして公開
 - インライン表示・添付ファイルとして提出
 - アンケート結果(自由記述)
 - 好きなときに課題を確認して、好きなときに提出できるのは便利



講義での利用

- 履修生との議論・調査結果の共有
 - あるテーマについて各自で調べ掲示板で共有
 - 回答が複数あるような課題を出す場合に有効
 - 例1) ゴールデンウィーク中に実際に接した情報システムについて……
 - 例2) 生活の中でどのようなデータベースを利用しているか……

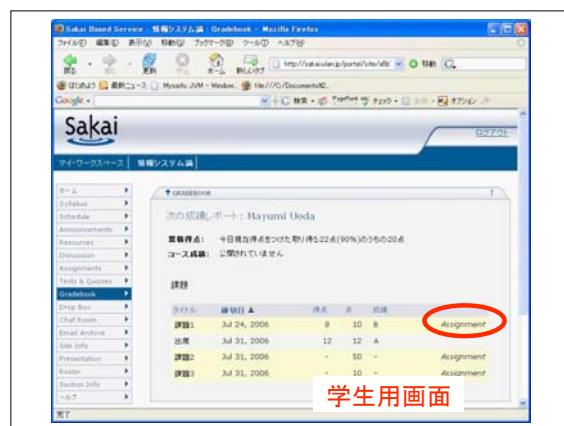
ディスカッションツール

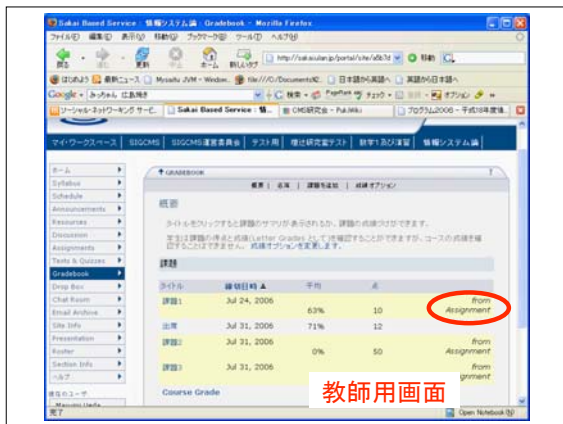


講義での利用

- 課題の評価および出席状況の公表
 - アサインメントツールと連携しており、アサインメントツールで採点すると自動的に反映
 - 課題の得点や出席状況を公開
 - アンケート結果(自由記述)
 - 知りたいときに出席状況がわかり便利

グレードブック

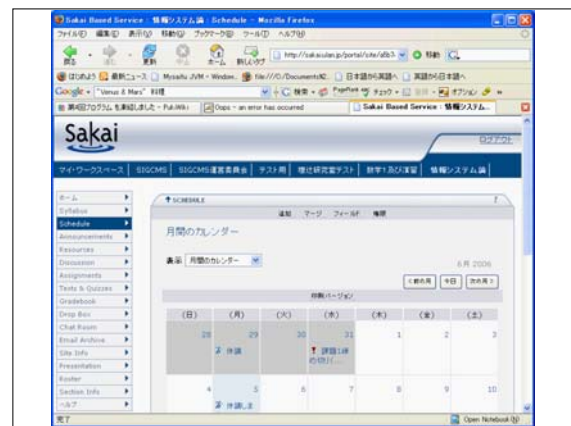




講義での利用

- アナウンス、休講などの情報を公開
 - 大学独自の掲示システムもあるが本講義では Sakaiでも公開
 - アンケート結果(自由記述)
 - 休講・補講情報がわかるのは便利

アナウンスツール
スケジュールツール

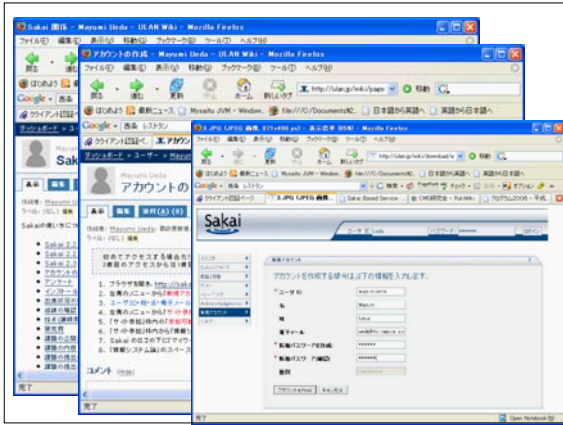


講義での利用

- アンケート結果
 - 便利
 - リソースツールでの資料の配布
 - アサインメントツールでの課題の公開・提出
 - グレードブックでの課題成績の公表
 - 不便・要望
 - 日本語化が不十分
 - 携帯電話からアクセスしたい

講義での利用に関する考察

- 非常勤講師で講義を行う場合に効果大
 - 常勤講師の場合、学生は質問したいときに講師を探せばよいが、非常勤講師の場合、講義時間しか学内にいない
 - 教員は気がついたときに情報を提供・共有できる
- 講義時間に使い方を説明し、Wikiで使い方を公開しておくことで利用可能
 - 就職情報提供サイトなどでウェブブラウザを介したシステムを使い慣れている
 - 30名程度の受講生なので気兼ねなく発言



ASPサービスの講義での利用 - 2年目の利用 -

- 講義概要
 - 「情報システム論」
 - 2007年度前期, 短期大学2年次を対象
 - 履修者は30名程度
 - 情報系の学生に限定していない
 - キャリアデザイン学科
- Sakai 利用の目的
 - 実際に情報システムに触れる機会を提供
 - 講義時間しか学内にいない非常勤講師と学生の意思疎通

ASPサービスの講義での利用

- 利用したツール
 - 資料の配布(リソースツール)
 - 課題の公開・提出・返却(アサインメントツール)
 - 議論・調査結果の共有(ディスカッションツール)
 - 課題の評価, 出席状況の公開(グレードブック)
 - アナウンスや休講等の情報を公開(アナウンスツール, スケジュールツール)

ASPサービスの講義での利用

- アカウントの作成とサイトへの登録
 - 昨年度
 - 講義時間に資料を配布し各自でアカウント作成, サイトへの登録
 - 今年度
 - 講義時間内に計算機室でSakaiに触れる時間を作成し, アカウント作成, サイトへの登録
 - 「アカウントには学籍番号を利用する」というルールを作成
 - 課題の提出方法も対面で練習

↓

成績を付けたり, 掲示板利用時に学生の把握が容易になった。
アカウントを忘れる学生がいなくなった。

ASPサービスの講義での利用

「情報システム論」におけるSakaiの利用状況

	H18年度	H19年度
Sakaiを利用している学生	100%	100%
アカウント作成や追加は問題なく	92%	92%
講義資料がダウンロードできることは便利	63%	92%
課題の確認・提出に利用したことは便利	53%	92%

但し, 講義時間内に用いたことは除く。

ASPサービスの講義での利用

「情報システム論」におけるSakaiの利用状況

- 自由記述欄
 - 家から資料が見れるのが便利
 - 課題を出すのが楽だった
 - メニューが英語のため, どこにあるか探しにくかった
 - 携帯電話からアクセスしたい

↓

- 日本語化が不十分なところがあった. 今後, 要改善
 - 日本語対応ができないツールもある
- 携帯電話からのアクセスに関する需要は日本の特徴?
 - 日本のSakaiコミュニティで検討する必要あり

ASPサービスの講義での利用 (実験中)

- クイズツール (SAMigo)



ASPサービスの講義での利用 (実験中)

- 教材エディタ (Melete)



ASPサービスの講義での利用 (実験中)

- グロッサリーツール



ASPサービス利用状況

	昨年度	今年度	研究グループ
コース	10件	18件	4件
教員	33名	20名	34名
TA	7名	4名	
学生	514名	640名	

ASPサービス利用状況

- 昨年度
 - 名古屋大学を含む4大学で利用
- 今年度
 - 国内
 - 名古屋大学を含む4大学
 - 大学間連携による単位互換の講義
 - 海外
 - 台湾、フィリピンの2大学(10コース)
 - AAACU(アジア農学系大学連合)関係の大学間連携
 - http://icca.e.agr.nagoya-u.ac.jp/activities/e_learning.html

ASPサービス利用状況

- 講習会の実施, デモ展示
 - 昨年度末に2回の講習会を実施
 - 日本語と英語で1回ずつ
 - 各15名程度の参加者
 - 研究会などでデモ展示

大学間連携の講義や国際連携での利用